

ソナレノギク

Heteropappus hispidus (Thunb.) Less.
subsp. *insularis* (Makino) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 四国・九州の一部に分布する。本県では当該地の海岸や沿海地，日当たりのよい路傍などにみられる。道路拡張や草刈などにより，生育地の消滅や生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 豊後水道域，豊後水道後背地域

分布域 四国 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 海岸路傍や崖地。

現 状 「豊後水道域」の半島や沿海地の海岸崖地や路傍に生え，しばしば群生するが，人里近い所では草刈などで衰退している。

備 考 国立・国定公園指定植物 [瀬戸内海，日豊海岸]

ブゼンノギク

Heteropappus hispidus (Thunb.) Less.
subsp. *koidzumianus* (Kitamura) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 本県では凝灰岩の岩場に生育し，県北地域に広く分布する。越年草であるが，よく繁殖している。人里近い生育地では，土地の改変や人による採取が懸念される。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地，玖珠丘陵地・山地

分布域 九州(佐賀・大分)

生育環境 低地や丘陵地の岩場。

現 状 凝灰岩の岩場に生え，良好な生育地をみかけるが，人里近い生育地では消滅した所がある。

備 考 九州北部地域の特産種。基準標本産地 [耶馬溪町耶馬溪] 国定公園指定植物 [耶馬日田英彦山]

チョウセンスイラン

Hololeion maximowiczii Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 国内では九州を分布域とする。県内の生育範囲は狭く，個体数も少ない。土地改変や野焼きの停止による植生遷移などで，絶滅の危険性が高い。

県内分布 中津・宇佐低地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，(大分川・大野川丘陵地)

分布域 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国(東北部) アムール ウスリー

生育環境 丘陵地から山地の湿地。

現 状 生育環境の悪化で，生育状態が衰退した生育地がみられる。「大分川・大野川丘陵地」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

備 考 大陸系遺存植物。